

第 13 章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12 ～ 16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。本遺跡の最初の調査は 1987 年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010 年 3 月現在 36 地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 神明後遺跡第 33 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅及び個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 25 日から同年 5 月 16 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 4 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土プランを検出した。遺構の性格を確認するためさらに一部を掘り下げ確認したところ、縄文時代の落とし穴、近世以降の井戸、土坑、ピット、溝等であった。確認面まで 80 cm を測るが、建築による遺構への影響がないため工事立会いとした。写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 96 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

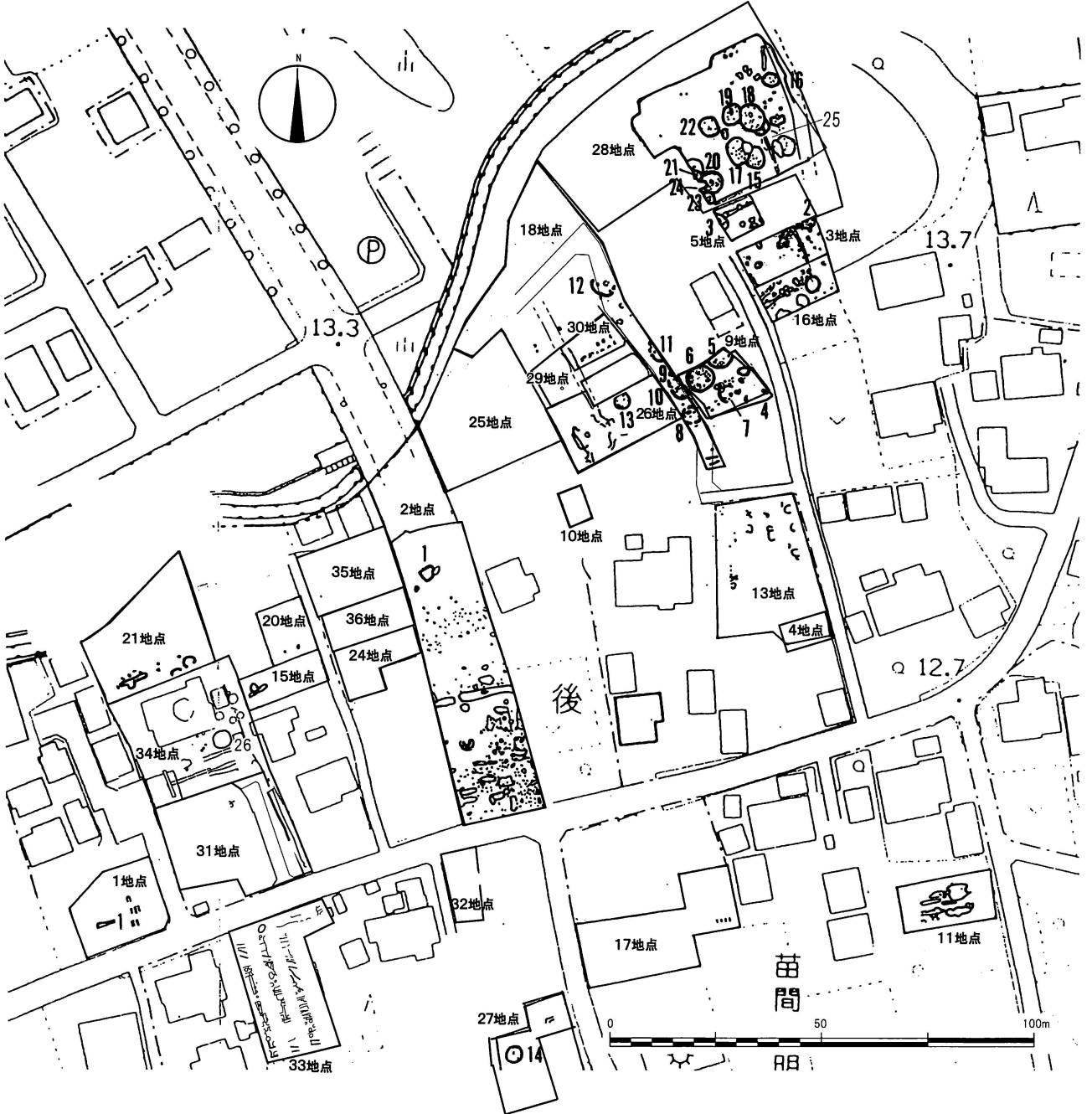
第 47 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6 ~ 11	615	共同住宅	遺構無し、平安時代須恵器片、陶器片	町内遺跡群Ⅲ
2	苗間 295-2,299-3	1993.5.12 ~ 20	1,688	道路築造	落とし穴 1、平安住居跡 1(H1 号)、縄文土坑 1、中・近世掘建柱建物跡、地下式竈 1、井戸、堀	町内遺跡群Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.3 ~ 5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡 1(2 号)、伏襲 2、埋襲 1、土坑 2、ピット 34 他	町内遺跡群Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17 ~ 19)	703	物置	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2	80	個人住宅	縄文住居跡 1(3 号)、土坑 5、溝、他 縄文中期後半～後期初頭	町内遺跡群Ⅵ
6	苗間 255,227-2	(1997.9.29 ~ 30)	150	個人住宅	土坑 1、土器片・石器片	町内遺跡群Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1 ~ 2)	1,460	個人住宅	近世地下室 1	町内遺跡群Ⅷ
8	苗間 235-1	(1998.7.13 ~ 24)	458	共同住宅	集石土坑 1、土坑 2、ピット 40、柵列 1、溝	町内遺跡群Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ~ 11) 1998.9.14 ~ 10.15	219	共同住宅	縄文住居跡 4、集石土坑 1、落とし穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ピット 33	町内遺跡群Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22 ~ 26	239	個人住宅	土坑 17、ピット 7	町内遺跡群Ⅸ
12	苗間 282-2,5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	個人住宅	土坑 12、ピット	町内遺跡群Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	共同住宅	土坑 1、近世掘建柱建物跡 1、溝 2、井戸 1、柵列、ピット 38	町内遺跡群Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12 ~ 13	163	個人住宅	集石土坑 1 (阿玉台期)	町内遺跡群ⅩⅠ
16	苗間 309-14	(2001.7.23 ~ 24) 2001.7.25 ~ 9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋襲 4、土坑 13、溝 2、地下式竈 1、地下室 1、竪穴状遺構 1、ピット 38	町内遺跡群ⅩⅠ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町内遺跡群ⅩⅠ
18	苗間 304-1,303-6	(2002.5.15 ~ 25) 2002.5.27 ~ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡 5(8 ~ 12 号)、土坑、古代・中世堀跡	町内遺跡群ⅩⅡ
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216	個人住宅	根切溝、溝 4	町内遺跡群ⅩⅡ
20	苗間 293-11	(2003.1.14 ~ 15)	143	個人住宅	中・近世溝 2、ピット 2	町内遺跡群ⅩⅡ
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674	土地造成	ピット 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1	町内遺跡群ⅩⅡ
22	苗間 235-2,3	(2003.7.8 ~ 29)	430	分譲住宅	井戸 1、土坑 10、ピット 38、江戸後期陶磁器	町内遺跡群ⅩⅡ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室 1、銭貨	町内遺跡群ⅩⅡ
24	苗間神明後 293-4,10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
26	苗間神明後 301,303-3,303-4,303-5,304-1,303-7	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡 1(13 号) 中世地下式竈、近世土坑 5、溝	調査会報告 18 集
27	苗間 248-2,249-1	2005.7.20 ~ 25 2005.7.27 ~ 29	385	共同住宅	縄文中期住居跡 1(14 号)	調査会報告 18 集
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡 11(15 ~ 25 号)、集石 23、土坑 5、落とし穴 1、竪穴 3、ピット、溝 4、古代・中世堀跡 1	市内遺跡 3
29	苗間神明後 303-21,24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	136	個人住宅	ピット 1、古代・中世堀跡 1	市内遺跡 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101	個人住宅	ピット 12	市内遺跡 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑 2	市内遺跡 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代掘乱	市内遺跡 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	個人住宅	落とし穴 1、中世以降溝 6、井戸 2、土坑 38、ピット 16	市内遺跡 6
33b	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	357	分譲住宅		市内遺跡 6
34	苗間字神明後 283-1,284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡 1(26 号)、落とし穴 1、集石 3、ピット	市内遺跡 5
35	苗間字神明後 293 番 6,20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ピット 1	市内遺跡 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30	120	個人住宅	縄文後期住居跡 1	未報告
38	苗間字神明後 293-1,292-13	(2009.7.6 ~ 14)	265	個人住宅	中近世溝 1	未報告
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中～近世溝 2、ピット 28、落とし穴 1	未報告
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 18) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑 1、中世地下式竈 2、井戸 1、竪穴状遺構 1、土坑 9	未報告
41	苗間字神明後 298-1,299-1 の各一部	(2010.5.25 ~ 31) 2010.6.15 ~ 7.21	486	共同住宅	縄文時代集石土坑 1、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構 16、溝 5、木炭窯 1、ピット 214、本調査 (140 ㎡)	未報告
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	宅地造成	遺構・遺物無し (隣接地)	未報告
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世期ピット 7、本調査	未報告

第 48 表 神明後遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 率	平面形 () は 推定	規模	が			埋 没	遺 構	壁 溝	備考	時期	文献
				地 床	埋 設	石 垣						
1号	10%	(円形)	不明	未掘						○ 中世土塁の下	加曾利 E II	大井町史 資料編 1
2号	65%	(円形)	不明×435×16	○	○					土坑と複合	加曾利 E IV、 埋没も E IV	町内道路群 VI
3号	45%	(円形)	410×不明×30			○				北平未掘	加曾利 E II 新	町内道路群VI
4号	15%	不明	不明			○				不明	加曾利 E II 中	町内道路群VII
5号	45%	(円形)	565×7×33	○						有 東北部未掘	加曾利 E II 新	町内道路群VII
6号	95%	円形	586×542×45	○	②		②			有・ 建特各 2	加曾利 E (断片)	町内道路群VII
7号	70%	円形	不明×498×18	○		○	○			東南部床まで削平	加曾利 E I 新(相)	町内道路群VII
8号	70%	(円形)	580×?			○				床面掘乱	加曾利 E I	調査会報告 16 集
9号	50%	(不整形)	(490×270)	未掘						有 ○ 10号に切られる	(加曾利 E I 新 新相)	調査会報告 16 集
10号	50%	不明	(300×250)×50	未掘						○ 9号を切る	曾利Ⅲ式	調査会報告 16 集
11号	40%	(不整形)	(490×?)×55	未掘						○ 貼床	加曾利 E II	調査会報告 16 集
12号	70%	(不整形)	(570)×550×80	○						○	加曾利 E III	調査会報告 16 集
13号	完掘	隅丸方形	343×370×13		○	○	○				加曾利 E I	調査会報告 18 集
14号	完掘	円形	404×403×20	○						2 本柱のみ	阿玉台 II	調査会報告 18 集

住居 番号	調査 率	平面形 () は 推定	規模	が			埋 没	遺 構	壁 溝	備考	時期	文献	
				地 床	埋 設	石 垣							
15号	完掘	円形	573×499×35				②				人 I 上に張り出し、 17 住を増める	加曾利 E III	市内道路群 3
16号	完掘	隅丸方形	338×337×25	②			○					加曾利 E II 新	市内道路群 3
17号	完掘	隅丸長 方形	684×525×70	②			○			有 ○ 拡張 3.15 住に切 られる	加曾利 E I 新	市内道路群 3	
18号	完掘	隅丸方 形	608×600×90	○		△	○			石垣の可能性有、 19 住に切られる	加曾利 E I 新	市内道路群 3	
19号	完掘	隅丸長 方形	476×448×60	②		△				石垣の可能性有、 18 住を切る	加曾利 E II～III	市内道路群 3	
20号	完掘	隅丸方 形	473×483×28			○				人 I 近くに配石、 伏魔	加曾利 E II	市内道路群 3	
21号	40%	(隅丸)	?×?×10	○						○ 20、24 住より古い	加曾利 E I 新	市内道路群 3	
22号	完掘	隅丸五 角形	491×513×113	○						○		加曾利 E I 新	市内道路群 3
23号	25%	不明	?×?×21	②		△				石垣の可能性有 20 住より古、 24 住より新	加曾利 E II	市内道路群 3	
24号	10%	不明	?×?×55	未掘						○ 20、24 住より古、 21 住より新	加曾利 E	市内道路群 3	
25号	完掘	不明	(500×400)×5	○			○					加曾利 E II 新	市内道路群 3
26号	完掘	隅丸長方 形	585×486×31	○						土坑より新、 落とし穴より旧	加曾利 E III	市内道路群 5	



第 97 図 神明後遺跡遺構分布図 (1/1,500)

(2) 遺構と遺物

【溝 1】溝 1 は調査区南端、東西方向に位置する。井戸等は溝の埋没後に掘削されている。

溝 2 は調査区北側北西から南東方向に位置する。断面形態は深い角形、底はローム塊主体の土層である。根切り溝の様相を呈する。

溝 4、6 は溝 2 から分派するように平行する。溝 5 は調査区北端、道路と平行する東西方向に位置する。

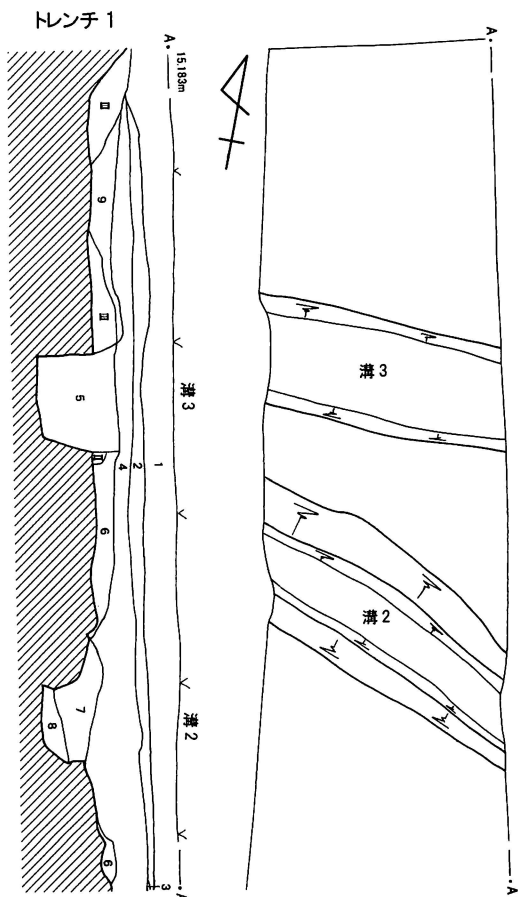
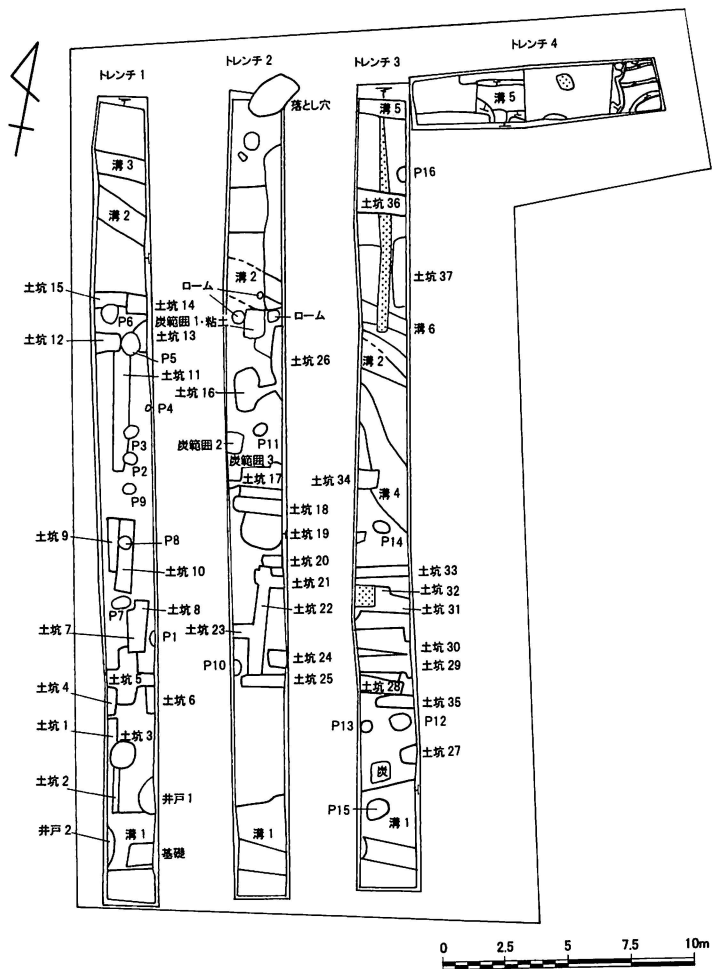
【落とし穴】調査区北端に位置する。長軸方位は N－36°－E である。下層はローム主体の土で埋る。

【井戸】井戸 1、2 とも調査区南西部に位置し、溝 1 埋没後に掘削されている。

【土坑】ほとんどの土坑は長方形、断面角形で方位も南北か東西である。イモ類を貯蔵するための「イモビツ」と思われる。

第 49 表 神明後遺跡第 33 地点遺構一覧表 (単位 cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝 1	直線 12m へ、断面 V 字形	180 ～ 250	25 ～ 80	42 ～ 67	土 1、2 と井 1、2 は P15 より旧
溝 2	直線 14m へ、断面 U 字形	80 ～ 108	25 ～ 35	48	根切り溝、ローム塊主体
溝 3					土 38 に変更
溝 4	直線 5.6m へ、a 断面皿状 b 断面 U 字形	70 ～ 62 ～ 74 72 ～	28 ～ 38	31 24	二股 (a、b) に分かれる
溝 5	直線 12m へ、断面浅い皿状	150 ～	100 ～	36	道路際に並行する
溝 6	直線 2m へ、断面浅い皿状	60 ～ 90	35 ～ 65	13	
落とし穴 1	楕円形	200 × 124	150 × 28	176	下層はローム主体
井戸 1	(円形)	(145) × (43)	×		未掘、掃跡出土
井戸 2	(円形)	128 × (55)	×		溝 1 より新、未掘、鉄輪出土
土坑 1	(長方形)、断面 U	(375) × (28)	(372) × (25)	27	溝 1、土 2 より新、土 3 より旧
土坑 2	(長方形)、断面 U	(185) × (45)	(185) × (34)	9	溝 1 より新、土 1、3 より旧
土坑 3	楕円形	95 × 78	66 × 62	40	土 1、2 より新
土坑 4	(長方形)、断面 U	120 × (50)	98 × (42)	14	
土坑 5	十字形、断面 U	235 × 75	215 × 62	15	土 7 より旧
土坑 6	(長方形)、断面 U	105 × (24)	98 × (18)	8	
土坑 7	長方形、断面 U	163 × 52	155 × 42	10	土 5、8 より新
土坑 8	長方形、断面 U	160 × 58	145 × 47	8	土 7 より旧
土坑 9	長方形、断面 U	203 × (33)	190 × (28)	11	土 10 より旧
土坑 10	長方形、断面 U	238 × 50	275 × 45	17	土 9 より新
土坑 11	長方形、断面 U	460 × 50	450 × 37	25	P2、3 より旧
土坑 12	(長方形)、断面 U	(100) × 90	(95) × 65	30	
土坑 13	(楕円形)	130 × (60)	105 × (50)	30	P5 より新
土坑 14	長方形、断面 U	(85) × 90	(85) × 65	10	
土坑 15	(長方形)、断面 U	(150) × 65	(150) × 52	10	P6 より新
土坑 16	長方形 (T 字形) 溝部分	172 × 90 80 × 35	145 × 68 × 15	14 13	
土坑 17	(長方形)、断面 U	(155) × 95	(155) × 55	59	土 18 より新
土坑 18	長方形、断面 U	180 × 68	160 × 57	40	土 17、19 より旧
土坑 19	長方形、断面 U	148 × 128	48 ×	34	土 18、20 より新
土坑 20	(長方形)、断面 U	(66) × 45	(65) × 35	26	土 19 より旧
土坑 21	(長方形)、断面 U	(111) × 58	(100) × 42	24	土 22 より新
土坑 22	長方形、断面 U	435 × 55	×	42	土 23 より新、土 21 より旧
土坑 23	(長方形)、断面 U	(72) × 48	(70) × 35	11	土 22 より旧
土坑 24	(長方形)、断面 U	(62) × 57	(60) × 48	28	溝 1、土 2 より新、土 26 より旧
土坑 25	(長方形)、断面 U	(168) × 40	×		溝 1、土 2 より新、土 27 より旧
土坑 26		(350) × (30)	(350) × 25	29	溝 2 より旧
土坑 27	長方形	(57) × 72	(45) × (50)	12	
土坑 28	長方形	(165) × 50	×		
土坑 29	(長方形)、断面 U	(200) × 60	×	38	30
土坑 30	(長方形)、断面 U	(190) × 80	×	42	29
土坑 31	(長方形)、断面 U	(60) × 70	×	40	23
土坑 32	(長方形)、断面 U	(200) × 100	×		
土坑 33	(長方形)、断面 U	(200) × 45	×	40	10
土坑 34	(長方形)、断面 U	(80) × 70	×		46
土坑 35	(長方形)、断面 U	(150) × 50	×	15	65
土坑 36	(長方形)、断面 U	(200) × 80	×	60	44
土坑 37	(長方形)、断面 U	280 × (65)	265 × (58)	4	
土坑 38	長方形	(200) × 85	(200) × 65	40	旧溝 3
P1	(円形)	(55) ×	(40) ×		47
P2	楕円形	52 × 40	38 × 30	50	土 11 より新
P3	隅丸方形	50 × 48	31 × 30	39	土 11 より新
P4	楕円形	38 × 30	12 × 10	32	
P5	楕円形	85 × 60	32 × 22	60	土 13 より旧
P6	円形	68 × 67	40 × 33	45	土 15 より旧
P7	楕円形	78 × 50	18 × 30	43	斜向ビット
P8	楕円形	58 × 50	42 × 30	50	
P9	円形	52 × 50	38 × 38	33	
P10	楕円形	62 × 47	23 × 15	52	
P11	楕円形	62 × 48	32 × 24	43	
P12	楕円形	73 × 68	48 × 50	38	
P13	円形	50 × (45)	10 × 6	62	
P14	楕円形	46 × 42	13 × 10	61	
P15	楕円形	105 × 80	25 × 12	88	溝 1 より新
P16	(円形)	52 × (35)	38 × (28)	24	
炭範囲 1	隅丸方形	115 × 82	×		
炭範囲 2	(隅丸方形)	95 × (65)	×		
炭範囲 3		90 ×	×		



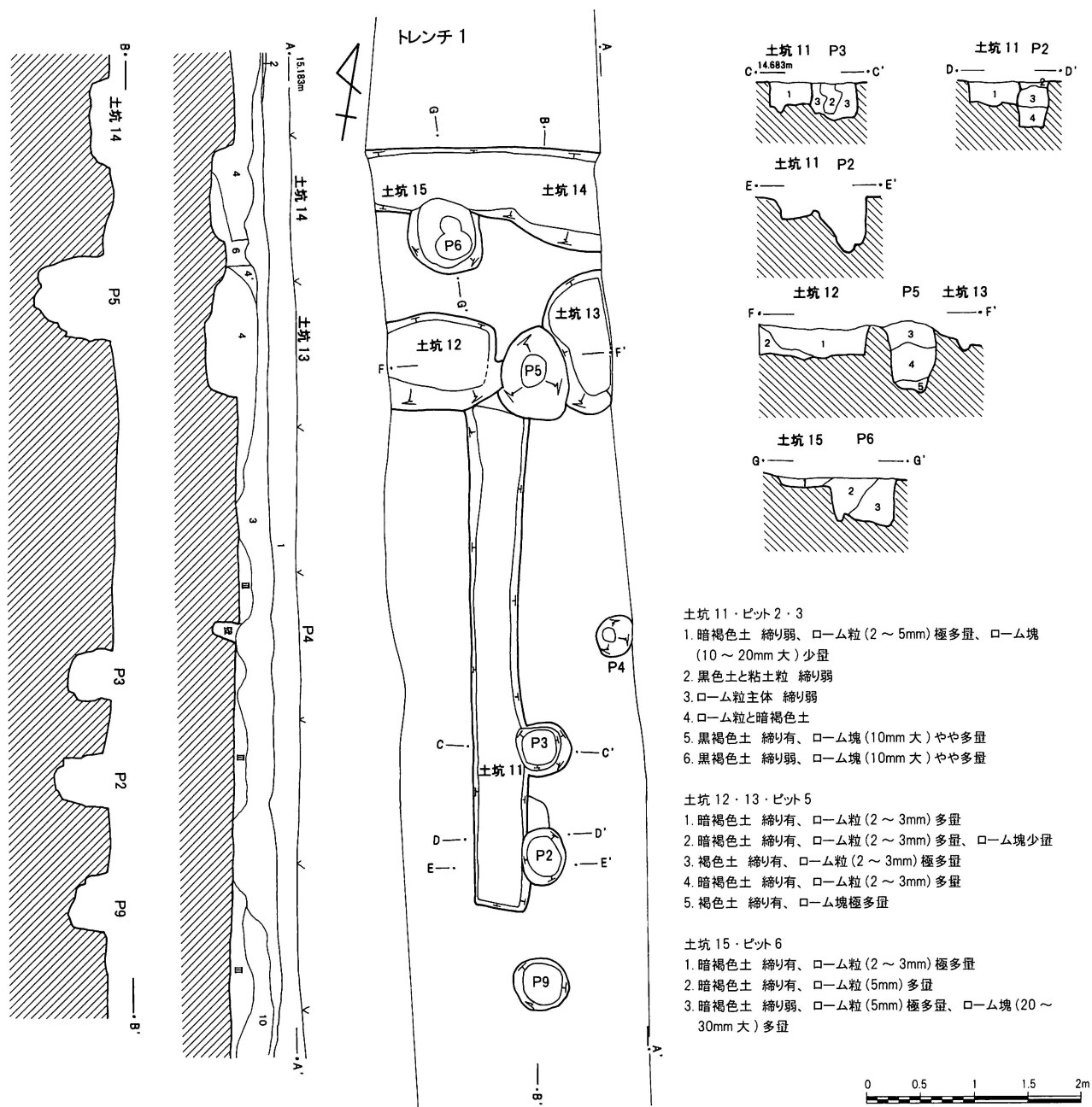
トレンチ 1

Ⅱ. 暗褐色土 包含層

Ⅲ. ローム地山

1. 表土 現在家屋の基礎 締り硬い、砂利、下層には炭化層
2. 表土 現在家屋の基礎 締り硬い、ローム粒と褐色土混合
3. 表土 暗褐色土 締り有、ローム粒 (3 ~ 5mm) 多く、ローム塊 (2 ~ 3cm 大) 含む
4. 暗褐色土 締り有、ローム粒 (3 ~ 5mm) 多く、土坑 13・14 の土、土坑 13 は根痕
- 4'. 締り弱
5. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (3 ~ 5mm) 多く、ローム塊 (2 ~ 3cm 大) 少し含む
6. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (3 ~ 5mm) 極多く、ローム塊 (1cm) 多く、一度掘り返されている
7. 暗褐色土 締り弱、5 層と同じ、ローム塊無し、根切溝
8. ローム塊主体 締り無、根切溝
9. ローム主体 締り弱、ロームが掘り返されたもの
10. もと表土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) やや多く、焼土粒・炭少量含む
11. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (2mm) 少し含む、他のピットと同じ
12. 暗褐色土 締り弱、根の抜痕跡、ガラス瓶出土
13. ローム主体 硬く締る、何かの基礎？
- 13'. ほぼローム 少し土混入 やや脆い
- 13''. 土とローム塊の混合
14. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (1mm) 少量
15. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (1mm) やや多量
16. 黒褐色土 締りやや有、ローム粒 (1mm) やや多量、焼土粒 (1mm) 少量、砂利少量
17. 黒褐色土 締り無、ローム粒 (1mm) 少量、焼土粒 (1mm) 少量、掘鉢出土
18. 黒褐色土 締りやや有、ローム粒 (1mm) やや多量、砂利少量
19. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (2 ~ 3mm) 多量、砂利多量
20. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (2 ~ 3mm) 多量、砂利無し
21. 黒褐色土 締り有、ローム粒 (5mm) 極多量
22. 表土 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (1mm) やや多量
23. 表土 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) 多量

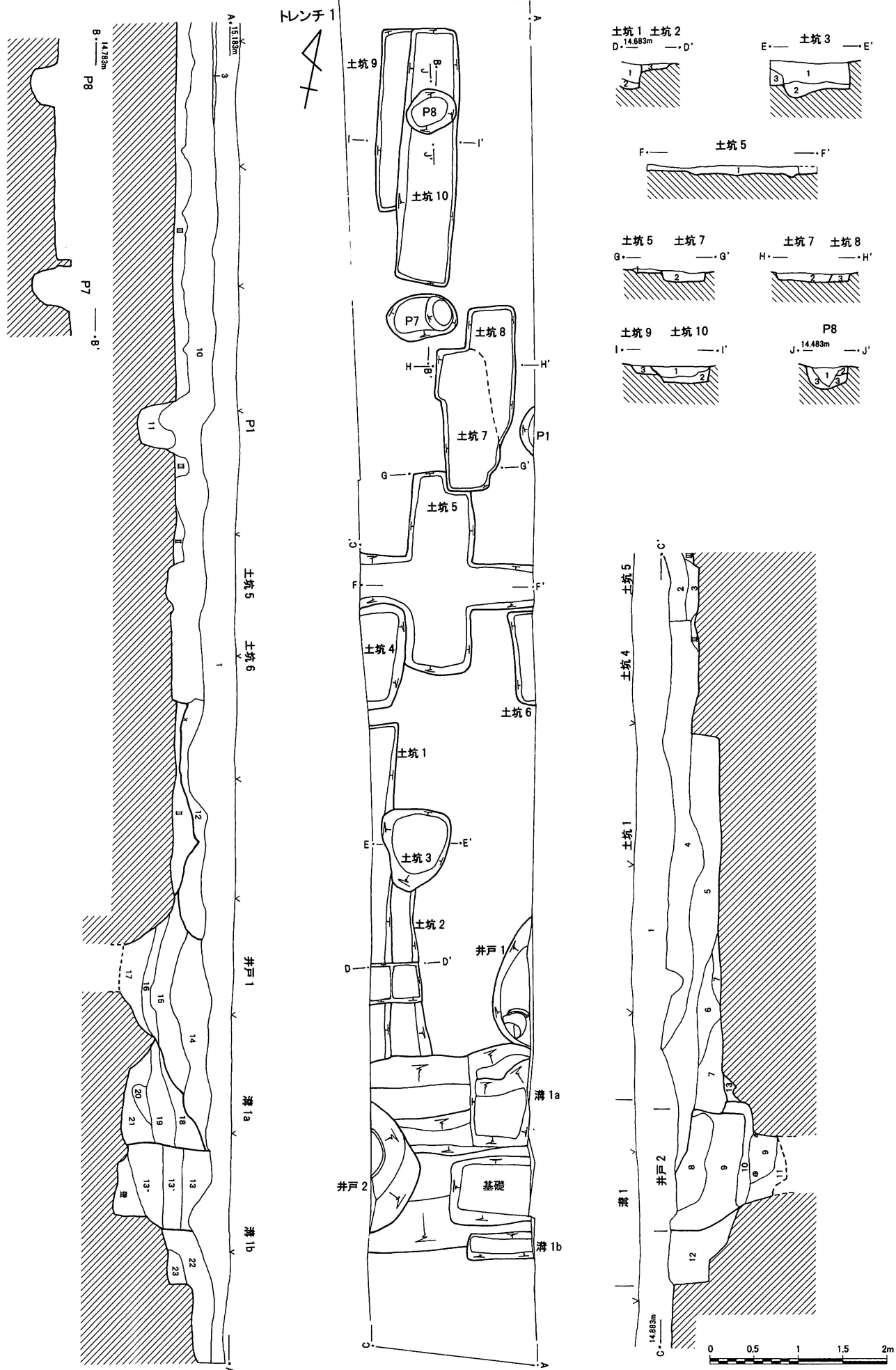
第 98 図 神明後遺跡第 33 地点遺構配置図 (1/300)、トレンチ 1 溝 (1/60)



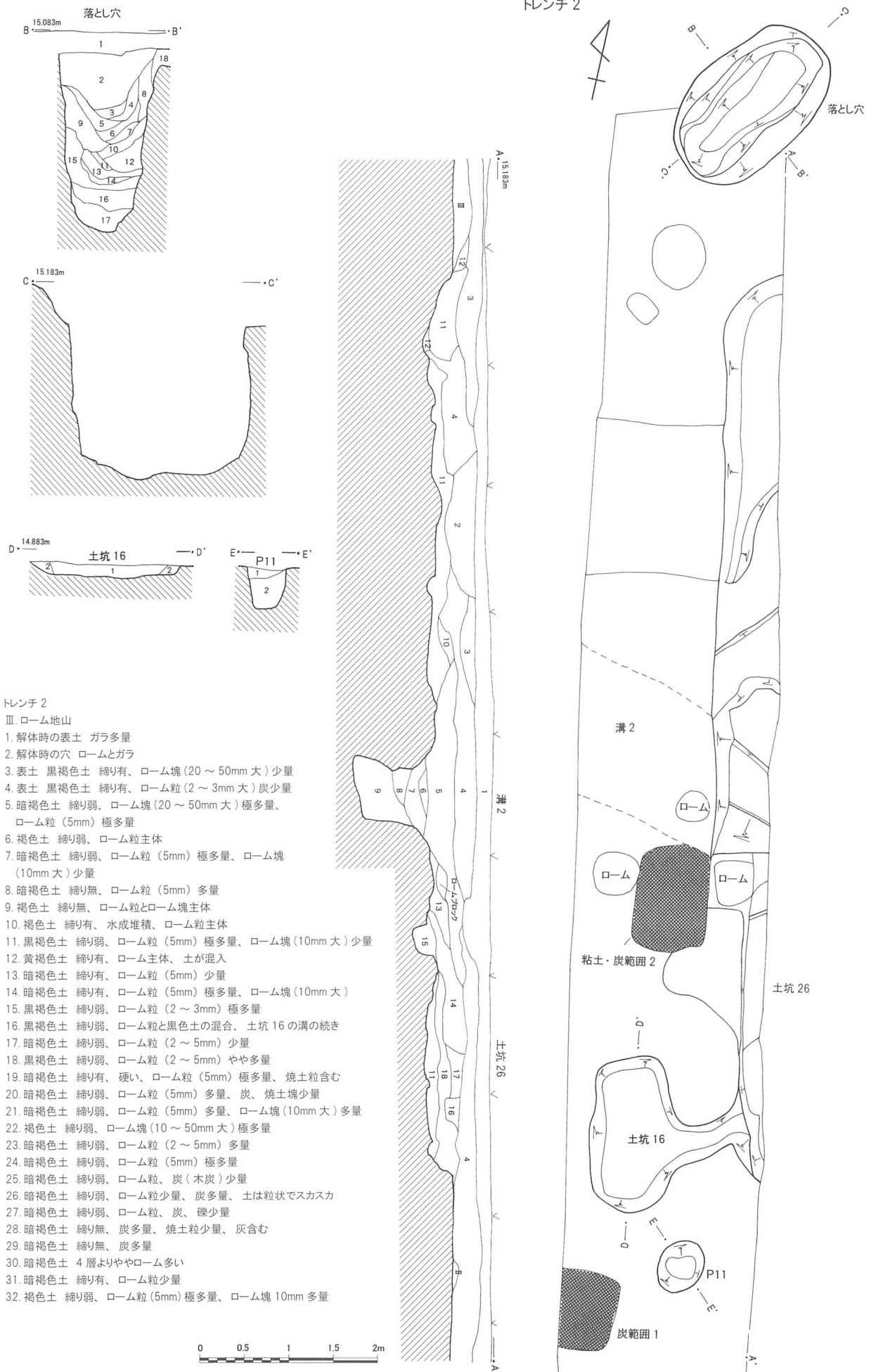
- 土坑 1・2
- 1. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (5 ~ 10mm 大) 極多量
 - 2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (5mm) 少量
 - 3. 黒色土 締り弱、ローム粒 (5mm) やや多量
- 土坑 3
- 1. 暗褐色土
 - 2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (5mm) 少量
 - 3. 黒色土 締り弱、ローム粒 (5mm) やや多量
- 土坑 5・7・8
- 1. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) 少量、ローム塊少量
 - 2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) 少量
 - 3. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 5mm) 極多量
- 土坑 9・10
- 1. 暗褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) 少量
 - 2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) 多量
 - 3. 黒褐色土 締り弱、ローム粒 (2 ~ 3mm) ローム塊少量
- ピット 8
- 1. 黒色土 締り弱、白色粘土混入、ローム土 (5mm) 多量
 - 2. 褐色土 締り有、ローム粒と褐色土混合
 - 3. 暗褐色土 締り弱、ローム塊 (20 ~ 30mm 大) 多量

第 99 図 神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 溝・土坑・ピット (1/60)

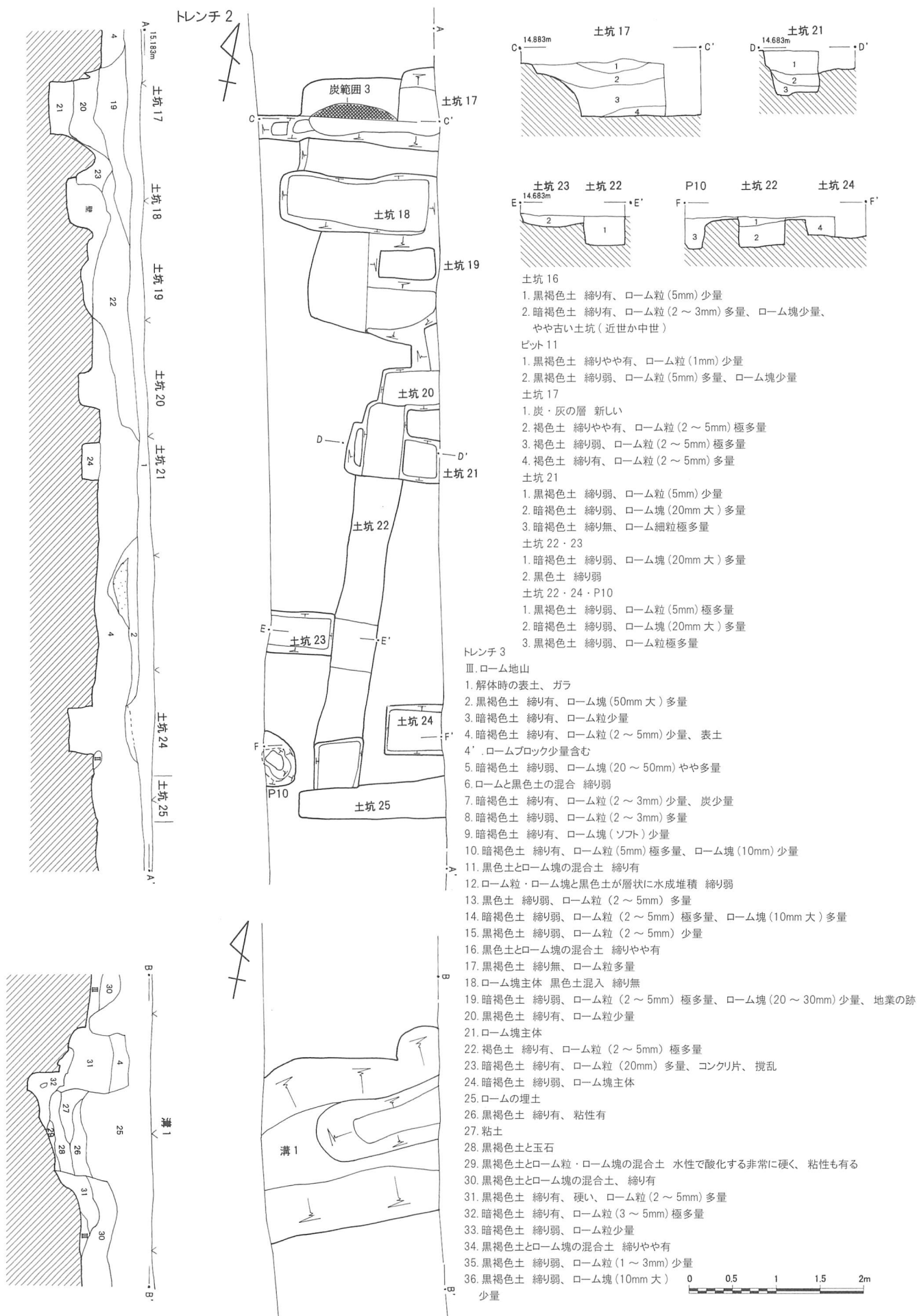
第 13 章 神明後遺跡の調査



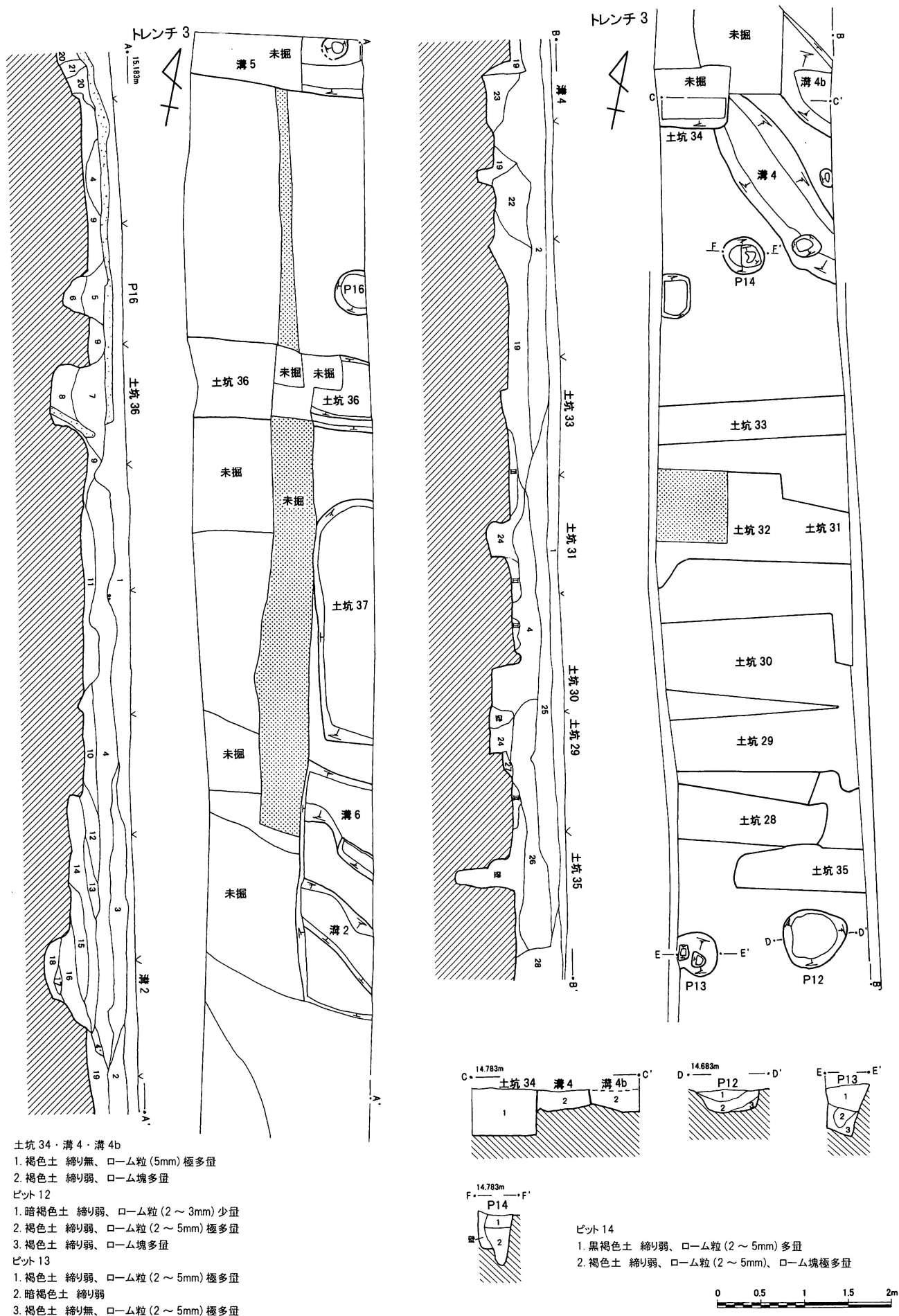
第 100 図 神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 井戸・溝・土坑・ピット (1/60)



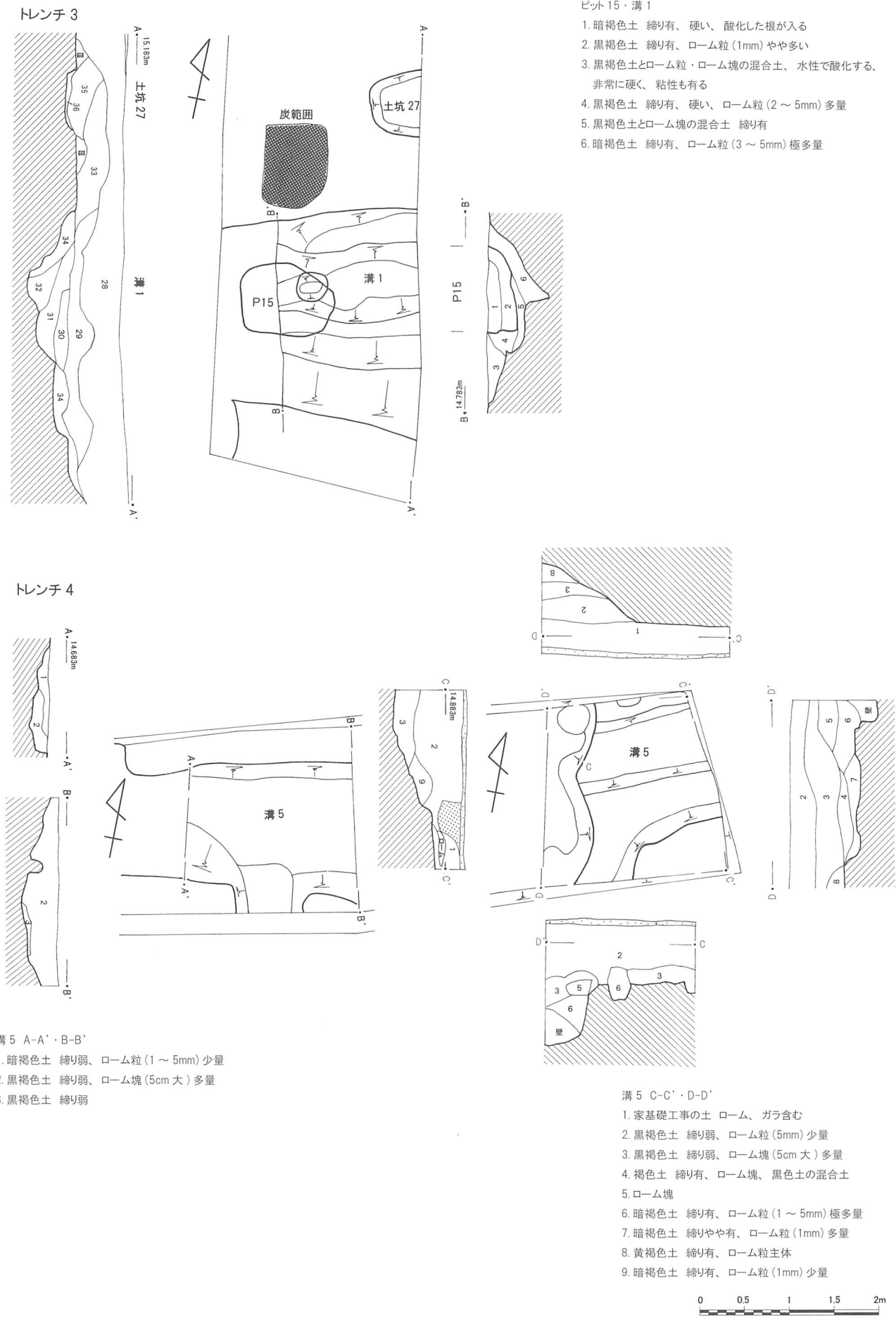
第 101 図 神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 落とし穴・溝・土坑・ピット (1/60)



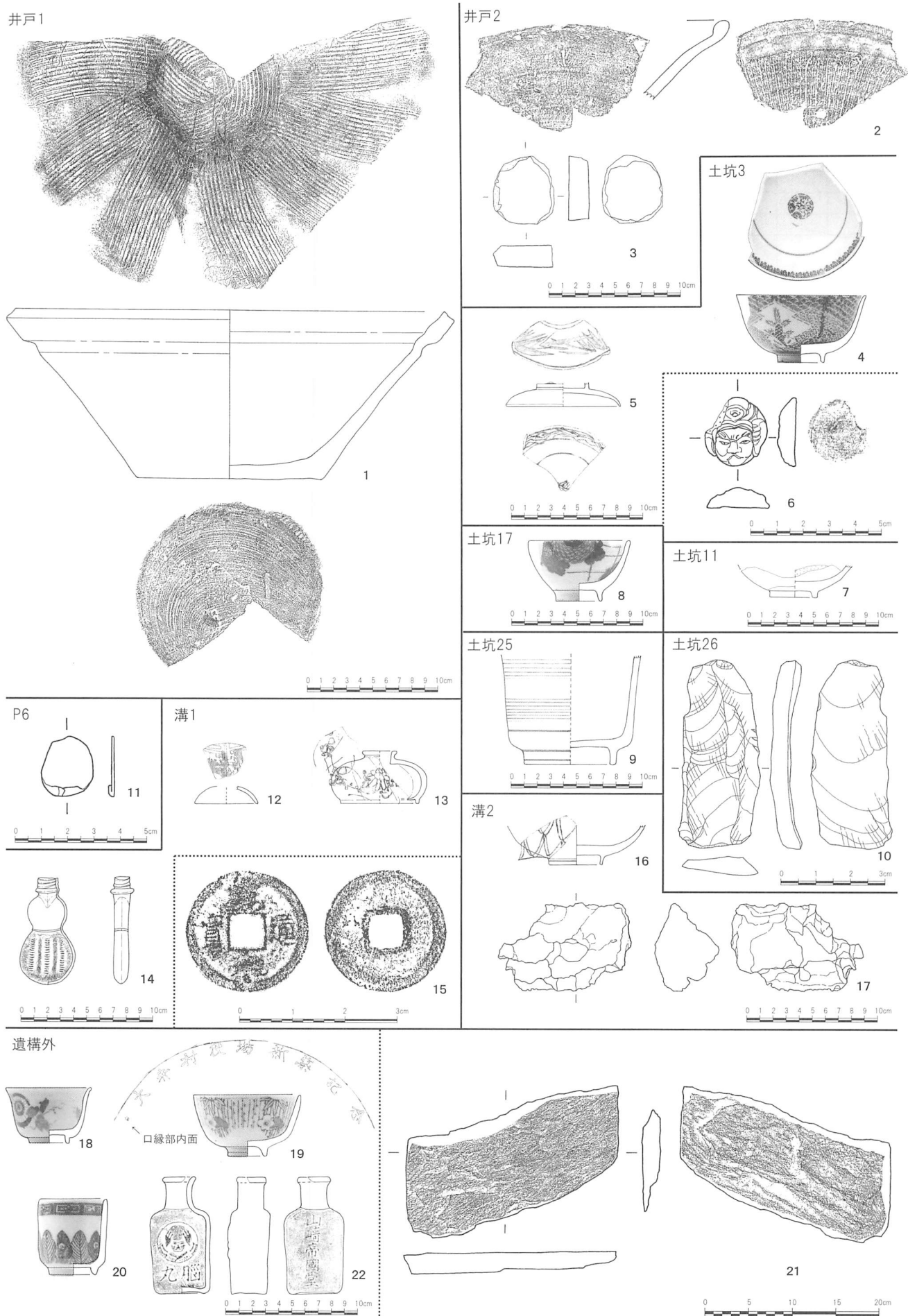
第102図 神明後遺跡第33地点トレンチ2溝・土坑・ピット (1/60)



第 103 図 神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 溝・土坑・ピット (1/60)



第 104 図 神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3・4 溝・土坑・ピット (1/60)



第105図 神明後遺跡第33地点井戸・土坑・溝・ピット・遺構外出土遺物 (1/1・1/2・2/3・1/4・1/6)

第 50 表 神明後遺跡第 33 地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・ 時期	残存 / 備考
105 図	1	井戸 1	陶器・捕鉢	(32.2)	13.8	12.8	紐槌み轆轤成形。底部右回転糸切り後未調整。口縁と体部の境を指撫で / 櫛目 15 本単位 (4.5cm 幅) を見込みから放射状、左回りに重ね、見込みも短く櫛目を重ねる / 鉄釉 / にぶい赤褐色 / 見込みは磨り減り、口縁内側も細かく打ち欠く / 注№ 1 井 2	瀬戸・美濃	18C 第 3 四 半期	1/2 以上 残存
	2	井戸 2	焼締め陶器・捕鉢	—	—	—	紐槌み轆轤成形 / 櫛目 7 本単位 (2.3cm 幅) を放射状、左回りに重ねる / にぶい褐色 / 砂粒 (〜 6 mm) 極多量含む / 注№ 2 井 2		近世	口縁部片
	3	井戸 2	瓦	5.4	4.8	1.6	棧瓦の破片を円形に打ち欠く / 灰色 / 注№ 2 井 1		近世〜	
	4	土坑 3	磁器・茶碗	(10.0)	3.5	5.1	轆轤成形 / コバルト染付け、型紙絵付け / 注№ 3D	瀬戸・美濃	1880 年代〜	1/2 以上残存
	5	土坑 3	磁器・蓋	(8.7)	(1.9)	—	轆轤成形 / コバルト染付け / 注№ 3D	瀬戸・美濃	1870 年代〜	1/4 以上残存
	6	土坑 3	土製品・泥面子	2.6	2.3	0.6	型押成形 / 裏面に指頭圧痕。泥沙門天 / 橙色 / 砂粒少量含む / 注№ 3D		1790 年代〜 1890 年代	一部欠
	7	土坑 11	陶器・碗	—	3.5	—	轆轤成形 / 灰釉。高台無釉 / 灰白色 / 注№ 11D	京都・信楽	19C	底部片
	8	土坑 17	磁器・茶碗	7.8	3.6	4.6	轆轤成形 / 黒色と茶色の銅版絵付 / 注№ 17D		1890 年代〜	口縁部一部欠
	9	土坑 25	磁器・香炉	—	(7.0)	—	轆轤成形 / コバルト染付、クロム青磁。内面無釉 / 注№ 25D	肥前	近代	1/4 以下残存
	10	土坑 26	石器・縦長剥片	5.43	2.38	0.92	重量 9.67g。縦長剥片を素材とする。右側辺に使用痕有 / 注№ 26D	頁岩	旧石器時代	完形
	11	P6	銅製品・薄板	2.3	1.3	0.1	楕円形の薄板の端が折れた状態で発見 / 注№ P 6			
	12	溝 1	磁器・合子蓋	(4.8)	—	(1.4)	型押成形 / 口縁内側無釉。矩形文に染付け / 注№ 1M1	肥前	1650 〜 1690 年代	1/4 以下残存
	13	溝 1	磁器・水滴	2.6	6.0	4.0	上部と下部を型押成形後、合体 / 内面無釉、指頭圧痕。コバルト染付け / 注№ 1M カクラン	瀬戸・美濃	1870 年代 〜	1/4 以上残存
	14	溝 1	ガラス製品 / 医療用薬瓶	1.5	3.1	7.3	型吹き成形 (割型) / スクリュー栓用 / 無色・透明、気泡有り / 瓢箪型 / 注№ 1M カクラン		1920 年代 〜	完形
	15	溝 1	銭貨・銅貨	外径 2.33	穿径 0.65	0.10	重量 1.75 g 鋳造 / 「寛永通寶」新寛永 / 注№ 1M カクラン		1697 〜 1781	完形
	16	溝 2	磁器・茶碗	—	(3.5)	—	轆轤成形 / 染付け。二重網目文。高台二重圈線。高台皿付無釉 / くらわんか手 / 注№ 2M2	肥前	1700 年代〜 1800 年代	底部片
	17	溝 2	製錬滓・炉内滓	6.6	10.2	4.8	重量 156.5g スサ入炉壁がガラス状に溶融し、炉底の滓が付着したもの / 注№ 2M3		古代	炉壁〜炉底
	18	遺構外	磁器・小杯	(6.5)	3.0	4.2	轆轤成形 / コバルト染付と緑色の銅版絵付。傘と朝顔。高台皿付無釉 / 注№ 1 トレ 1		1890 年代〜	1/2 以上残存
	19	遺構外	磁器・茶碗	8.2	3.0	4.8	轆轤成形 / コバルト染付の型紙絵付。松竹梅。高台皿付無釉 / 注№ 2 トレ 1		1880 年代〜	完形
	20	遺構外	磁器・湯飲み碗	5.1	3.5	5.8	轆轤成形 / コバルト染付の銅版絵付。桜、鶴。高台皿付無釉 / 注№ 2 トレ 1		1890 年代〜	完形
	21	遺構外	石製品・板碑	11.4	26.6	2.5	注№ 2 トレ 1	緑泥片岩	中世	1/4 以下残存
	22	遺構外	ガラス製品・ 一般用薬瓶	2.3	3.4	9.0	型吹き成形 (割型) / コルク栓用。角瓶 / 表「脳丸」「人物絵」、裏「山崎帝國堂」の陽刻。無色・透明、気泡有 / 注№ 1 トレ 2 № 1		1900 〜 1920 年代	完形

Ⅲ 神明後遺跡第 34 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2007 年 12 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央北に立地し、隣接地では集石や地下式坑、溝跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 30 日から同年 5 月 15 日まで行った。幅約 2 m のトレンチを 5 本、幅約 1.5 m のトレンチを 1 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、縄文時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で 2008 年 5 月 16 日から同年 5 月 28 日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、縄文時代の住居跡 1 軒、落とし穴 1 基、集石 3 基、中世以降の土坑、ピ

ットを検出した。

(市内遺跡群 5「神明後遺跡第 34 地点の本調査」参照)

Ⅳ 神明後遺跡第 35 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 8 月 1 日に行なった。幅約 1.5 m のトレンチを 3 本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、時期不明のピットを 1 基検出したが、その他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。北側の斜面に向かって傾斜していき、70 cm 以上の盛土で造成されていた。確認面まで 130 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

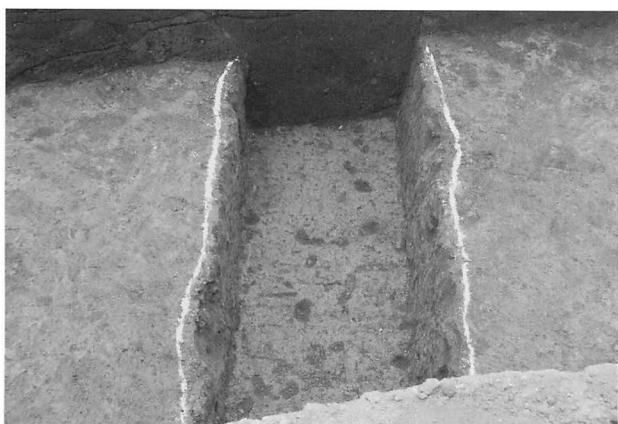
神明後遺跡第 33 地点 (1)



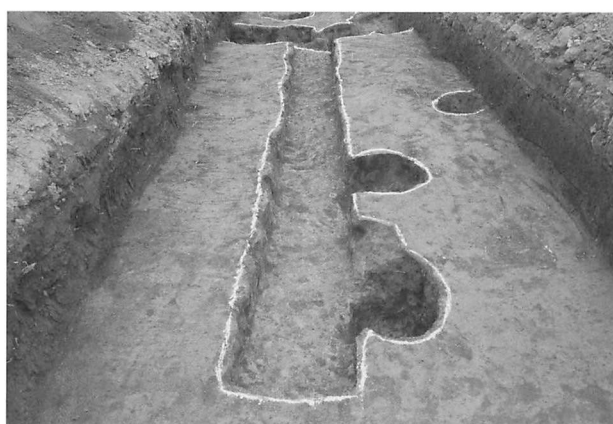
神明後遺跡第 33 地点全景



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 溝 2



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 溝 3



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 土坑 11、ピット 2～4



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 土坑 12～15



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 土坑 1～3



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 土坑 4～6



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 ピット列

神明後遺跡第 33 地点 (2)



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 井戸 1・2



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 井戸 2



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 1 完掘



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 落とし穴



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 溝 2



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 土坑 16



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 土坑 17



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 土坑 21 ~ 25

神明後遺跡第 33 地点 (3)



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 溝 1



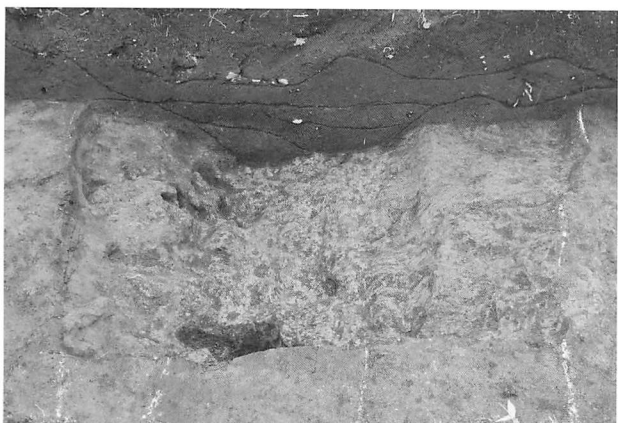
神明後遺跡第 33 地点トレンチ 2 ピット 11



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 土坑 34、溝 4



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 土坑 30 ~ 35



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 溝 1



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 土坑 35



神明後遺跡第 33 地点トレンチ 3 土坑 36



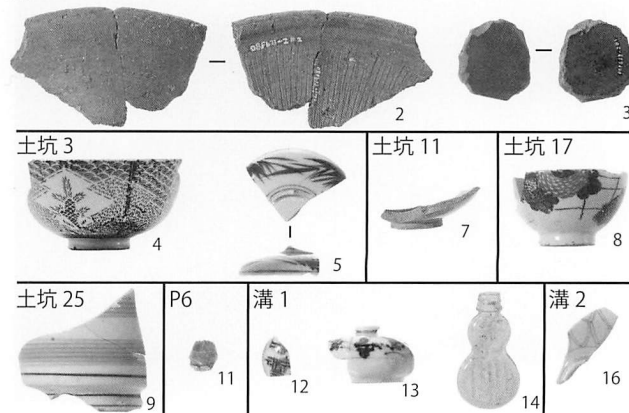
神明後遺跡第 33 地点調査風景

神明後遺跡第 33 地点 (4)



神明後遺跡第 33 地点井戸 1 出土遺物 No.1

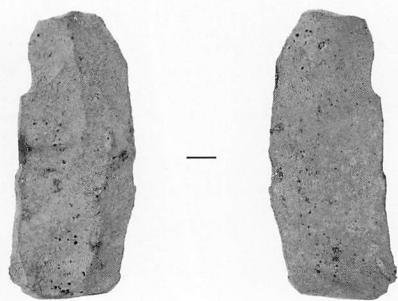
井戸 2



神明後遺跡第 33 地点出土遺物 No.2 ~ 5・7 ~ 9・11 ~ 14・16



神明後遺跡第 33 地点土坑 3 出土遺物 No.6

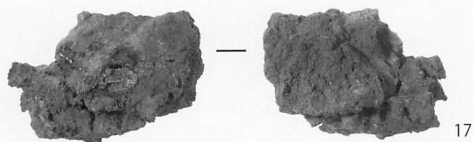


神明後遺跡第 33 地点土坑 26 出土遺物 No.10

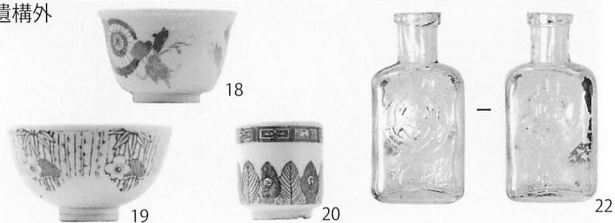


神明後遺跡第 33 地点溝 1 出土遺物 No.15

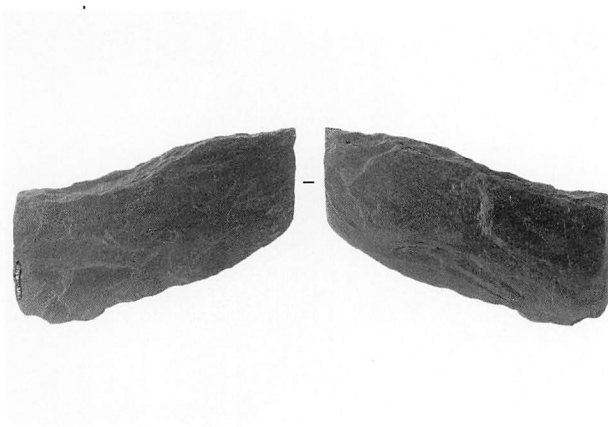
溝 2



遺構外



神明後遺跡第 33 地点出土遺物 No.17 ~ 20・22



神明後遺跡第 33 地点遺構外出土遺物 No.21

東久保遺跡第 66 地点	ふじみ野 2-19-4,19-5	112453	35° 51′ 48″	20080522	261	分譲住宅
		30-009	139° 30′ 49″	20080611		越村篤
	集落跡 / 溝 4 条、溝状遺構 2 基					
亀久保堀跡遺跡 第 31 地点	ふじみ野 2-15-4	112453	35° 51′ 45″	20090206	240	分譲住宅
		30-006	139° 30′ 53″	20090213		越村篤
	集落跡 / 古代～中世の堀跡 1 条 東西 800m に渡って存在する溝の一部を検出					
駒林遺跡第 7 地点	駒林土地区画整理事業地内 28 街区 5 画地	112453	35° 50′ 00″	20090203	54	個人住宅建設
		25-013	139° 31′ 41″	20090205		高崎直成
	集落跡 / 時期不詳の溝跡 3 条 東西方向の溝は 140 ～ 160m に渡って存在すると思われる溝の一部					
神明後遺跡第 33 地点	苗間 240-2	112453	35° 51′ 35″	20080425	209	個人住宅・ 宅地造成
		30-041	139° 31′ 39″	20080516		高崎直成
	集落跡 / 時期不明の落とし穴 1 基、中世以降の溝 6 条、井戸 2 基、土坑 38 基、ピット 16 基・ 近世～近代陶磁器、ガラス製品 中世以降の屋敷跡の一部検出					
神明後遺跡第 35 地点	苗間 293-6	112453	35° 51′ 38″	20080801	26	個人住宅建設
		30-041	139° 31′ 40″	20080801		高崎直成
	集落跡 / ピット 1					
東台遺跡第 51 地点	大井字東台 648-2	112453	35° 51′ 01″	20090310	297	個人住宅建設
		30-024	139° 31′ 28″	20090507		越村篤
	集落跡 / 縄文時代中期住居跡 6 軒、土坑 4 基・縄文土器、縄文時代石器 縄文時代中期環状集落の一部を検出					